

■ 清書

打ち言葉の特徴

最近では、SNSが一般的になり、チャットなどで使われる言葉を意味する「打ち言葉」という言葉も新しくできました。私は、打ち言葉では絵文字や「w」「L」などの略語や、「それな」「まじ」などの短い言葉をよく使います。話し言葉も、書き言葉に比べたら短く、くだけた表現といえますが、打ち言葉のほうが略語やスタンプなどを使って、さらに短く、くだけた表現ができます。このたった二、三文字にいろいろなニュアンスを含めて、自分のいたいことをうまく表せるのが、打ち言葉の特徴です。しかも、短いために頻繁なやりとりができます。私が数人の友達とグループチャットをするときは、文字を打つ間に話題が変わらないよう、一文をいくつかに分けて打っているほどです。

書き言葉の場合、文章の形式や、敬語など、丁寧に書かなければいけないので、頻繁にやり取りをすることはできません。実際に会話をしている時に使う話し言葉は、表情などでも感情を伝えることができます。短い言葉だけで感情を表す必要がありません。

しかし、打ち言葉には、スピードとわかりやすさの両立が必要です。そこから、「w」「L」や「まじ」という、短い文字に感情を込めた言葉が生まれたと私は考えています。打ち言葉は、くだけた雰囲気の中で極限まで短い言葉で頻繁にやり取りをするための、独特の言葉なのです。